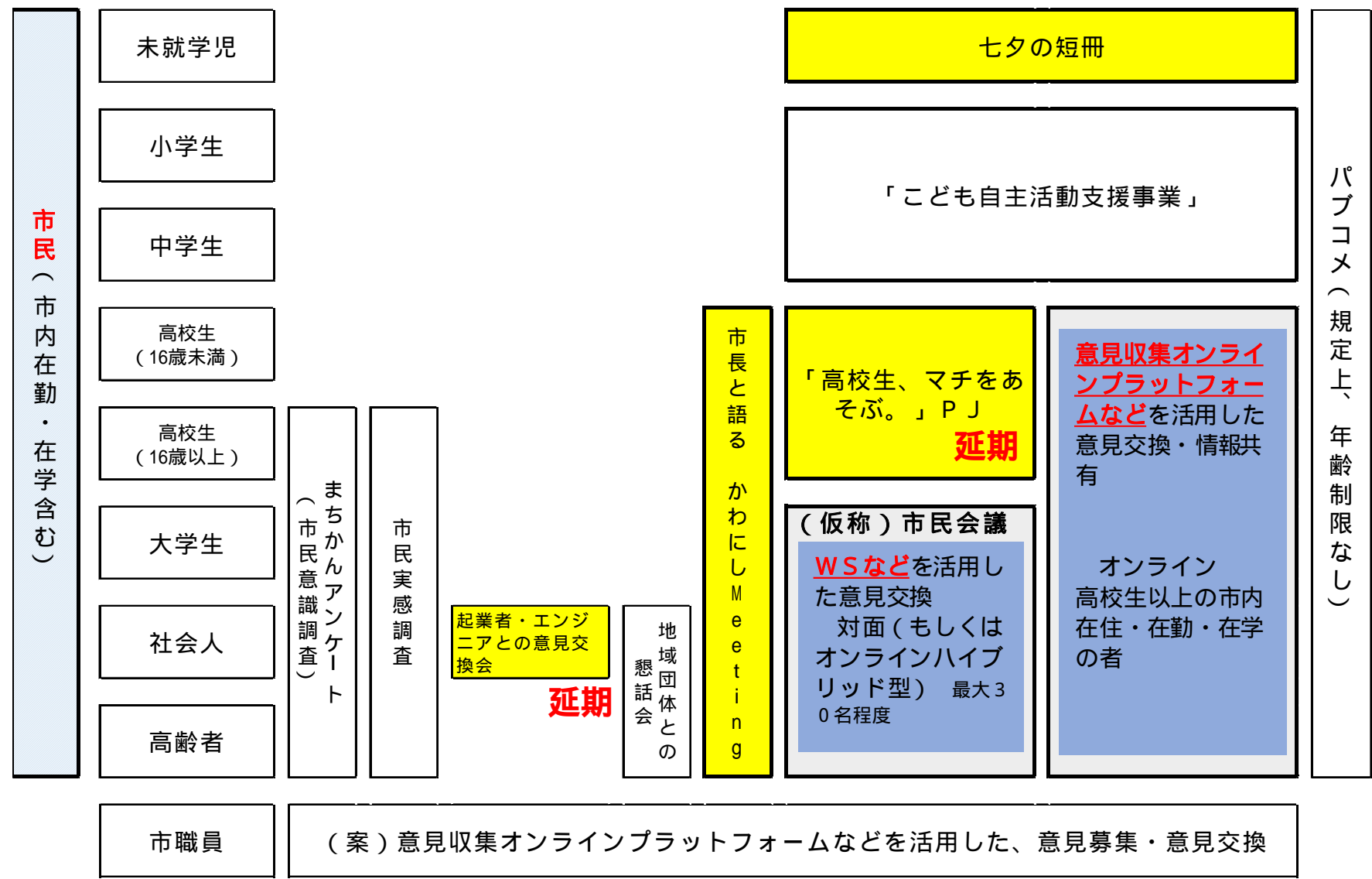


# 総合計画策定過程における、個別の取組みにかかる進捗状況（R4.8月時点）

資料3

【図】第6次総合計画策定過程における、様々な市民とのかかわり方（令和4年8月時点）

今回は  
**七夕の短冊  
 市長と語る かわにしMeeting**  
 について報告。  
 は当初7月頃から実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、開催を延期。



パプコメ(規定上、年齢制限なし)

# 七夕の短冊

## 対象

市内幼稚園、認定こども園、  
保育所に通う年長児童

## 収集方法

各園所で集めた短冊について、  
願いごとが分かる方法で  
市へ提出（撮影画像など）

## 収集期間

令和4年6月から7月

## 回収数

869枚（27園所）

写真はイメージです。  
(広報かわにし令和4年8月号  
より)





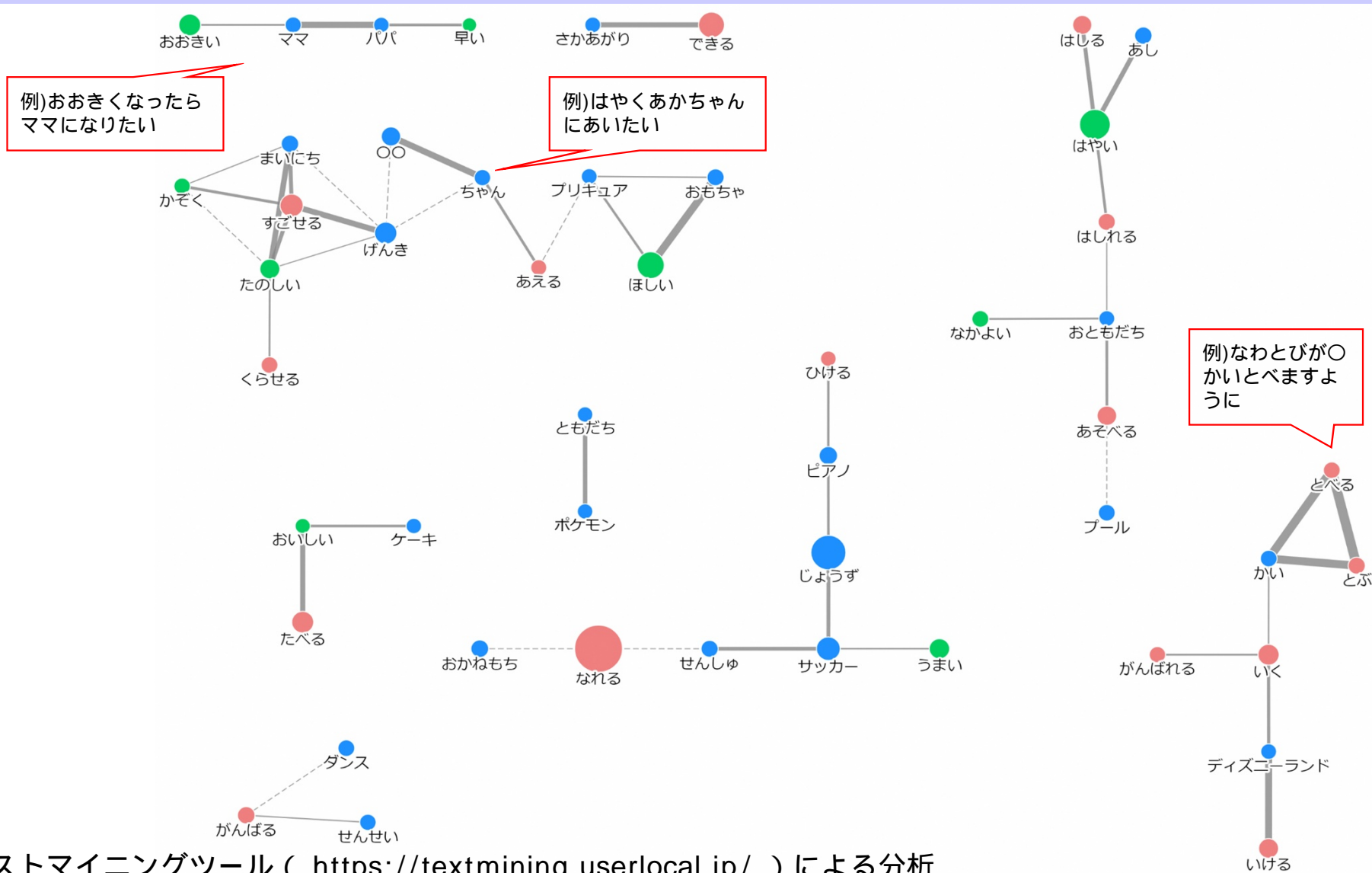
# 短冊に書かれていた「思い」の傾向

文章中出现する単語の出現パターンが似たものを線で結んだ図です。

集計にあたり、個人名は「〇〇」と置き換えています。

出現数が多い語ほど大きく、また関連の程度が強いほど太い線で描画されます。

青色 名詞  
赤色 動詞  
緑色 形容詞  
灰色 感動詞



ユーザーローカル テキストマイニングツール ( <https://textmining.userlocal.jp/> ) による分析

# 市長と語る かわにしMeeting

## 開催期間

令和4年6月18日(土)～7月17日(日)  
各会場2時間

## 開催回数

14回(小学校区ごとに開催)

## 参加人数(総数)

265名  
各会場の定員は30名

## ミーティングで参加者に尋ねたこと

「最近、あなたが笑顔になったできごとは何ですか」

「みんなが笑顔で暮らせるために、どんなまちになったらいいと思いますか。また、あなた自身はどんなことをしたいですか」



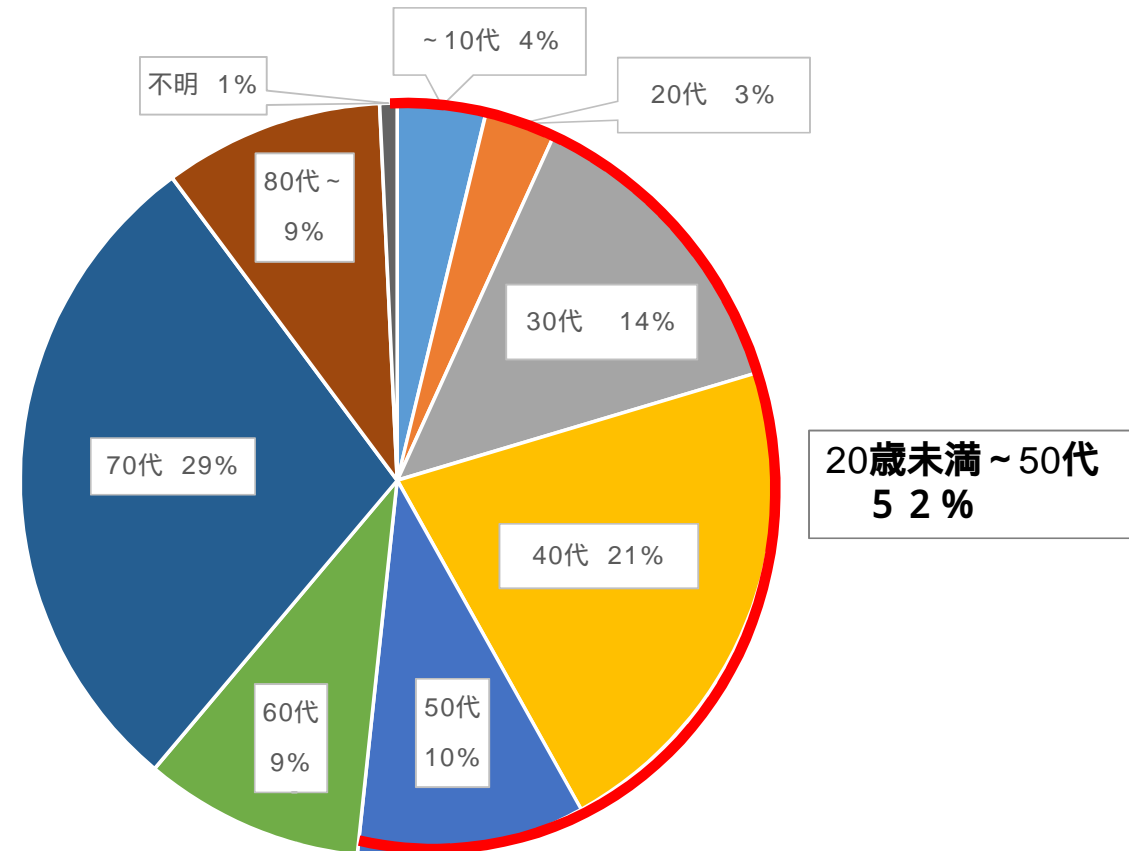
<https://www.city.kawanishi.hyogo.jp/shiseijoho/1007418/sogokeikaku/1015278.html>

# 市長と語る かわにしMeeting

## 参加者の属性、満足度（アンケート結果より）

小学校区名	回収数
牧の台	15
多田	13
緑台・陽明	26
東谷	24
川西北	17
多田東	28
けやき坂	23
明峰	22
桜が丘	14
川西	15
北陵	14
久代	27
清和台・清和台南	11
加茂	16
<b>【合計】</b>	<b>265</b>

年齢構成

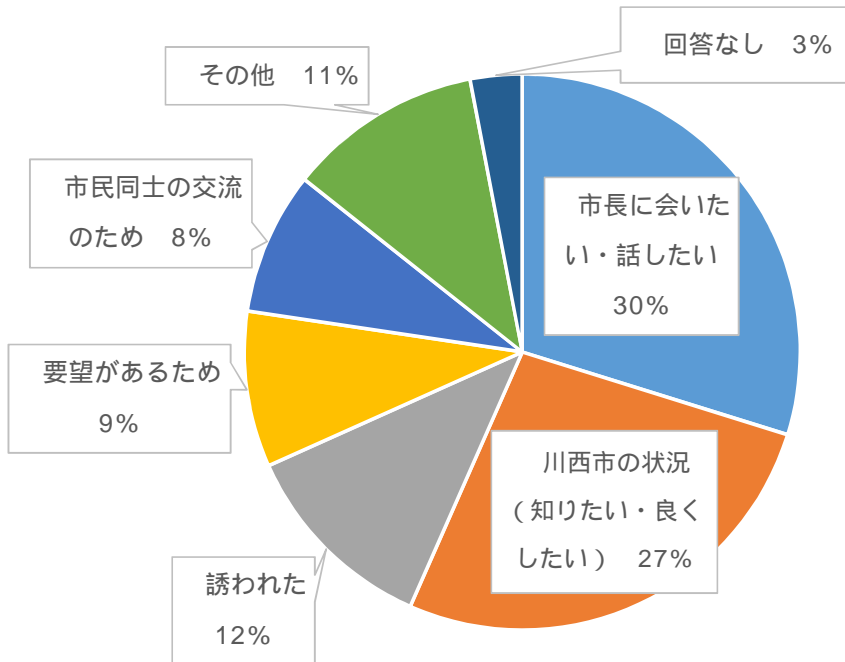


(回収率100%)

# 市長と語る かわにしMeeting

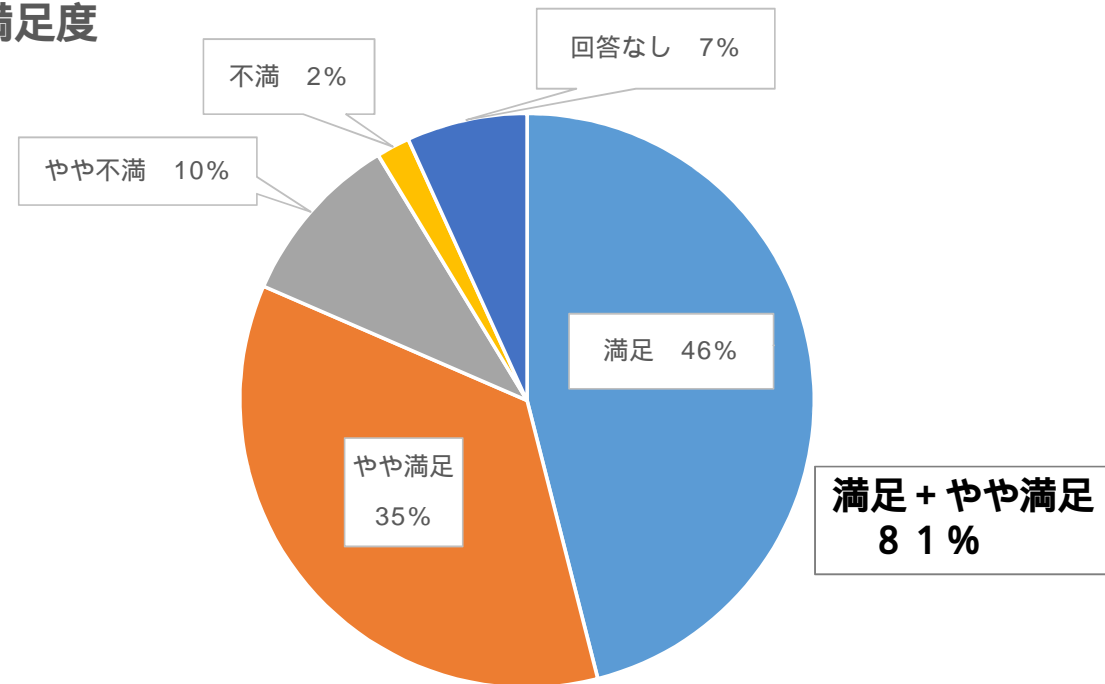
## 参加者の属性、満足度（アンケート結果より）

参加理由（記述式）



- ・市長「と」話すミーティングと聞いたから
- ・一市民の日頃の思いを直接市長さんと話したかったから
- ・地元である川西市を良くしていきたいと考えた

満足度



### 満足・やや満足

- ・若い人の意見が聞けて良かったです。
- ・皆さんよい意見ばかりでした。町づくりは市長+市民が大切だと市長の熱意が伝わりました。

### 不満・やや不満

- ・いろいろ話したいことがあったが、人数も多く、思っていたことすべては話せなかった。こういう機会を多くもっていただきたい。

## 参考

広報かわにし milife  
みらいふ  
令和4年6月号（一部抜粋）

- ・第6次総合計画策定に向けた特集記事
- ・総合計画策定のキックオフとして位置づける「市長と語るかわにし Meeting」の参加者を募集



[https://www.city.kawanishi.hyogo.jp/shiseijoho/koho/koho\\_kawanishi/1015292.html](https://www.city.kawanishi.hyogo.jp/shiseijoho/koho/koho_kawanishi/1015292.html)



特集その先の幸せを描く

# 十人十色のカタチ

家族と団らんしているとき、趣味を楽しんでいるとき、人の笑顔の「カタチ」はさまざま  
幸せだと思ふ実感や皆さんの笑顔を増やしていくために  
まちのこれからを、共に考えてみませんか  
問い合わせ 政策創造課 ☎072(740)1120



## 笑顔の輪が広がっていく

一番楽しいと感じるのは、学校で友達や先生と一緒に笑っているときです。大好きな学校を、みんなにももっと楽しんでもらいたくて、生徒会長に立候補しました。4月から会長として、学校で色々なことに取り組んでいます。僕は、学校の活動も授業も、指示された通りにするだけでは楽しくないと思っています。小さなルール1つでも、一人一人が主体的に考えて、みんなで変えていきたい。団結力を高めて学校全体を良い雰囲気にして、笑顔の人を増やしていきたいです。



米澤 遼馬さん  
市在住。市立川西南中学校3年生。生徒会長を務めている

## 支え合って子育てできる

子どもが生まれてから、家族で過ごす時間を一番大切に感じようになりました。子どもが成長している瞬間に立ち会えるのは、他の何にも代えがたい幸せですね。週3回くらい通っているプレイルームでは、子ども同士のふれ合いはもちろんですが、私自身の新しい交友関係を構築できることもうれしいです。ママ友に知らないことを教えてもらえるのが助かっています。今後も変わらず、支え合いながら子育てができる環境を、みんなで作ってあげたいですね。



菅 明子さん  
市在住。結婚を機に川西へ移住。現在育児中で、9カ月の子がいる

## まちで聞きました 私が笑顔でいられるとき

日常の中で皆さんが幸せを感じるのとはどんなときですか  
自分や大切な人が笑顔でいられるために、あなたはどうありたいですか

## 同じ志の仲間とつながる

以前は企業に勤めていて、大阪まで通っていました。今は家から川西のコワーキングスペースまで約5分。通勤に充てていた時間を家族と過ごしたり、趣味の料理を楽しんだりするなど、心と体にゆとりが持てるようになりました。コワーキングスペースの利用を始めてから、起業家の仲間が少しずつ増えてきました。自分の思いを仲間と共有することで、新しいアイデアや挑戦に結びつくことも。まちに自分の居場所があって、そこから色々な縁が広がっていくのがうれしいです。



岡本 章代さん  
市在勤。コワーキングスペースを拠点に、墓石専門のクリーニング事業を行う

## 新しいことにチャレンジ

カラオケが好きで、近所のみんなでよく老人福祉センターで歌ったり、毎週生き生き100歳体健に参加したりしています。私たち高齢者は、みんなで集うことが生きがい、これからも生き生きと暮らしていきたいですね。最近では、市のセミナーにも通っています。スマートフォンの操作方法や会議進行のコツなど、知らないことを学べることが面白い。何事にも関心を持って、まず参加してみるのが大切だと改めて思います。新しい楽しみを見つけられるかもしれませんから。



越智 武司さん  
市在住。趣味は畑で野菜を育てること。老人クラブの活動にも積極的に参加

幸せを感じるとき  
日々の暮らしの中で、ふとしたきっかけで心が弾むとき、人は笑顔になります。川西で生まれ育った人、就職や結婚を機に移り住んだ人、学校や職場に通う人。一人一人、「笑顔になる瞬間」もさまざまです。  
まちは人の暮らしそのもの  
まちづくりと聞くと難しく、身近に感じられない人が多いでしょう。  
まちは、そこに暮らす人の生活で形づくられます。あなた自身が笑顔で暮らせること。それも、川西というまちを形づくる上で大切なものです。  
あなたが笑顔でい続けられるために、大切にしたい思い。まちづくりは、それを他の人と共有することから始まります。  
4年度から、市は、皆さんとありたいまちの姿を共に考え、共有できる場をつくっていきます。まちづくりの主役は皆さんです。笑顔の輪を広げていくために、あなたの思いを聞かせてください。

## (一部抜粋)

- まちは、そこに暮らす人の生活で形づくられます。あなた自身が笑顔で暮らせること。それも、川西というまちを形づくる上で大切なものです。
- あなたが笑顔でい続けられるために、大切にしたい思い。まちづくりは、それを他の人と共有することから始まります。
- 4年度から、市は、皆さんとありたいまちの姿を共に考え、共有できる場をつくっていきます。まちづくりの主役は皆さんです。笑顔の輪を広げていくために、あなたの思いを聞かせてください。

・あなたにとって、幸せとはどのようなものですか。思い描く幸せは、人によって違います。ただ、「幸せに暮らしたい」という思いは、誰もが同じように持っているのではないのでしょうか。

・市民の皆さんの思いを大切にするために、どんなまちをめざすのか。その考え方をまとめたものが「総合計画」です。市民の皆さんが感じる幸せを、皆さんと共に増やしていきたい。それを実現するための取り組みが、今、動き出そうとしています。

## 市長と語る かわにし Meetingの紹介



日常を振り返り、市長との対話を通してありたいまちの姿を一緒に考えませんか

## 市長と語る かわにし Meeting

問い合わせ 政策創造課 ☎072(740)1120・Fax 072(740)1315

開催日は下表の通り。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全ての会場の定員を30人程度としています(定員を上回った場合は抽選)。ただし、抽選に外れた人や当日参加の人も、当日は同会場の

別室で傍聴可能。また、会議の様子をオンラインで配信予定です。  
なお、来場の際は、公共交通機関を利用してください。

### 【申し込み方法】

開催日の前週の木曜日までに、市ホームページ(右下の2次元コードからアクセス可)の申し込みフォームから必要事項を入力するか、市役所4階の政策創造課と各公民館に備え付けの申込用紙(市ホームページにも掲載)に必要事項を書き、郵送かファクスで〒666-8501・政策創造課へ。電話でも受け付け可。参加が決定した人には、別途案内を郵送します。



### check

これまで市民参画の機会が少なかった若年世代の市民の一部の人へ、同Meetingの案内を個別に送付します(無作為に抽出)。届いた人は抽選なしで参加できます。気軽に参加してください。

会場(小字区分)	日時	申し込み締め切り日
物の台公民館(物の台)	6月18日(土) 午前10時~正午 午後2時~4時	6月9日(水)
多田公民館(多田)	6月19日(日) 午前10時~正午 午後2時~4時	6月9日(水)
川西北コミュニティプラザ(川西北)	6月26日(日) 午前10時~正午 午後2時~4時	6月16日(木)
多田東公民館(多田東)	7月2日(土) 午前10時~正午 午後2時~4時	6月23日(水)
アステ市原プラザ(秘砂丘)	7月3日(日) 午前10時~正午 午後1時~3時	6月23日(水)
アステ市原プラザ(川西)	7月16日(日) 午前10時~正午 午後2時~4時	7月7日(日)
清和台公民館(清和台・清和台南)	7月17日(日) 午前10時~正午 午後2時~4時	7月7日(日)

市は、令和6年に市制施行70周年を迎えます。農村から都市へ、70年間で川西のまちの姿は大きく変わりました。しかし、「市民の幸せ」がまちづくりの基盤であることは、ずっと変わりません。現在、市ではまちづくりの方向性を示す新しい総合計画の策定作業を進めています。しかし、市の財源は限られており、行政だけでまちづくりを進めることは難しく、市民の皆さんの力が必要です。そこで、6月からは「かわにしMeeting」を、秋ごろからは「飯塚」を、秋ごろからは「飯塚」を開催します。案内が届いた方ももちろんですが、皆さんに気軽に参加いただけるよう準備を進めています。価値観やライフスタイルが多様化する中、まちづくりの正解が一つは、限りありません。今まで以上に、より多くの人たちと対話を重ねていくことが重要だと考えます。新たな視点やアイデアが見つかり、



市長 越田 謙治郎

ありたいまちの姿がより明確に見えてくるでしょう。総合計画は、6年度からの8年間でめざすべきまちの姿を定めるものです。しかし、8年後に留まらず、その先10年、20年を見据えたまちのあり方を描いていきたいと考えています。総合計画づくりへの参加は、市に提案して終わりではありません。これをきっかけに一人一人がまちづくりを「自分事」として興味を持ち、主体的な行動に移していただくことが大切です。未来の川西を支えていく若い世代の皆さんにも、積極的に関わっていただけたら幸いです。

## 思いを行動に あなたの力が必要です

特集 その先の幸せを描く

# まちの未来をともに描く

令和6年度から始まる「第6次川西市総合計画」。今後のまちの方向性について考える大きな計画です。新しく開催する「市長と語るかわにしMeeting」などを通して、市民一人一人が描く幸せから、ありたいまちの姿を共有し、実現させるために取り組みます。問い合わせ 政策創造課 ☎072(740)1120



それが描く幸せを実現させるために、あなたにとって、幸せとはどのようなものですか。思い描く幸せは、人によって違います。ただ、「幸せに暮らしたい」という思いは、誰もが同じように持っているのではないのでしょうか。市民の皆さんの思いを大切にするために、どんなまちをめざすのか。その考え方をまとめたものが「総合計画」です。総合計画はおおむね10年ごとに策定しており、令和6年4月から、新しい「第6次川西市総合計画」が始まります。

6月から始まる「市長と語るかわにしMeeting」は、これからのまちのありたい姿について、市長と皆さんが語り合い、思いを共有する場です。開催日や場所、申し込み方法など、詳しくは5ページに掲載しています。気軽に参加できるさまざまな機会「市長と語るかわにしMeeting」の他にも、皆さんに参加してもらえる機会を準備しています。「例えばこんな取り組み」・ありたいまちの実現のために、重点的に取り組むべきことなどを市民の皆さんと一緒に考える。・市内の高校生が集まり、市の資源(人や自然、場所)を生かして、市の魅力を発信する取り組みについて、詳細が決まり次第、広報誌や市ホームページなどで順次お知らせします。

Voice

地域のこと、まちの未来。一步踏み出してみた人に話を聞きました



知ることから始まる

総合戦略策定時の市民会議に参加  
林 操 さん

市民会議の案内が来た当時、体育休中で比較的時間にゆとりがあったので、せっかく行ってみようかと。市の集まりみたいなものに行ったのは初めてで、その時に公共交通機関の運営状況が厳しいことを知ったんです。バスに利用啓発のポスターが貼られていたのを見たことはあったのですが、あまり意識したことはなくて。無くなったら困るので、途出する時は、バスや電車を意識して使うようになりましたね。

まちの未来は、そこに住む自分たちの今後の生活と直結しています。まちの課題や色んな人の思いを、まずは知ることが大切だと思います。



小さなことでも話してみても

清和台コミュニティ福祉部会所属  
武田 容美 さん

地域の活動では、先輩に長年の知恵を教えてもらったり、逆に私が新しい情報を伝えたり。世代やキャリアが違う人と、意見を交わって一つのことに取り組むのは、学びになるしやりがいがあります。

こんなまちになればいいなとか、みんな心のどこかでは考えているんじゃないでしょうか。でも、行動に移すのは難しいですね。私自身も、先輩方に背中を押してもらって活動できています。立派なことをしなくちゃ、と気負う必要はないと思います。自分の思いをご近所さんと話してみるのも、一步踏み出すきっかけになるかもしれません。